

WCRP いのちの森づくりプロジェクト

概要

1. 背景：

世界の平均気温が2℃上昇すると、世界の主要都市が水没してしまうという科学的な予測があり、地球温暖化問題は地球市民にとって喫緊の課題です。WCRP 日本委員会では、宗教者として積極的な温暖化対策の実施を目指し、2016年に気候変動タスクフォースを立ち上げました。2014年に開催された第8回アジア宗教者平和会議（ACRP）の仁川宣言で「1人が1本の木を植える」ことが提唱されたことを受け、気候変動タスクフォースではWCRP いのちの森づくりプロジェクトを立ち上げ植林活動を実施します。

2. プロジェクト名：WCRP いのちの森づくりプロジェクト

3. 目的：

- ・地球温暖化問題に対する宗教者の実践活動として植林活動を行う。
- ・次世代の青少年と共に活動し、環境における青少年への意識啓発を行う。

4. 対象地区：所沢市にある土地約3,000坪（1万平方メートル）

住所：埼玉県所沢市大字上山口

選定理由：

- ・首都圏内であるため、植林活動を行いやすい。
- ・埼玉県の森林面積の割合は32.2%（日本全体で約70%、東京都は35.39%）で、全国順位は44位。緑化が求められている。

5. 期間：3年間（2017年4月～2020年3月）

6. プロジェクト内容（予定）

Season 1（夏秋期間）：土地の整備（伐採した竹の処分や除草作業など）

Season 2（冬期間）：コナラや山桜、紅葉もみじなどの植林活動
子どもたちへの環境教育

Season 3（春期間）：筍取りや子どもたちへの環境教育